

The 6th International Conference on
Pre-modern Japanese Texts

online

2020.11.07 (土)

13:00～17:00

第6回

日本語の

歴史的典籍

国際研究集会

大規模学術フロンティア促進事業

「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」

デジタル
の
可能性
と未来
人文文学

特設サイトは [こちら](#)

事前参加登録受付は [こちら](#)

17:00～ 日本古典籍研究国際コンソーシアム関連シンポジウム

プログラム

総合司会：山本 和明（古典籍共同研究事業センター長）

12:30 配信開始

13:00 開会の挨拶 ロバート キャンベル館長

13:10～14:10 セクション① 「NW事業から後継計画へ」

- [1] 海野 圭介 後継計画準備室長
宮本祐規子 古典籍共同研究事業センター特任准教授
「歴史的典籍NW事業の現在と未来
ー画像集積からデータ駆動へ」
- [2] 佐藤 悟 実践女子大学文学部教授
「上紙摺と上製本ー合巻研究への
高精細デジタルマイクロスコープの利用ー」

14:10～14:15 休憩（5分）

14:15～15:15 セクション② 「「デジタル源氏物語」の構築と展開」

- 田村 隆 東京大学大学院総合文化研究科准教授
- 中村 覚 東京大学史料編纂所
前近代日本史情報国際センター助教
- 中村 美里 東京大学附属図書館情報サービス課
資料整備係長
- 永崎 研宣 一般財団法人人文情報学研究所
人文情報学研究部門主席研究員

15:15～15:20 休憩（5分）

15:20～16:20 セクション③ 「若手研究者からの提案：

テキストマイニングーKH Coderを中心に」

- [1] 小風 尚樹 千葉大学人文社会学系教育研究機構助教
「人文学における探索的データ分析」
- [2] 福田 真人 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程
「公文録目録の量的分析 ー明治14年頃の財政を中心にー」
- [3] 大知 聖子 名城大学理工学部 助教
「中国・北魏の石刻史料（墓誌）を用いたKH Coderによる
分析と文化的社会集団の復元」

16:20～16:50 総括コメント（30分） 司会進行：山本 和明・海野 圭介

16:50 閉会の挨拶 山下 則子副館長

本国際研究集会閉会后、同配信により「日本古典籍研究国際コンソーシアムについて」を開催いたします。